

2021年2月15日

JAXA との「次世代ヘルスケアサービス」創出実現に向けた 取組みの検討を開始

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（理事長：山川 宏 以下、JAXA）と宇宙及び地上におけるヘルスケア領域の課題を解決する「次世代ヘルスケアサービス」創出の実現に向けた取組みの検討をしていくことに合意しましたのでお知らせいたします。

当社と JAXA は、相互に協力して、JAXA が有する宇宙飛行士の健康管理に関するノウハウを地上に転用することでヘルスケア領域の課題を解決する「次世代ヘルスケアサービス」の創出を目指し、実現性の検討を行います。また、当社は、JAXA による宇宙飛行士の健康管理に関する新たな技術開発や運用改善についても、技術・ノウハウを有する企業と連携する等の協力を含め、検討を行ってまいります。そして、そこで生み出されたデータや ICT^{*1}等の技術革新を、遠隔状態での健康管理等地上のヘルスケア領域に転用することで、「次世代ヘルスケアサービス」の創出を目指し、実現性の検討を行います。

当社は、社会との共有価値を創造する CSV^{*2}経営を通して持続的な成長を目指しており、「生きるための保険」と親和性のあるヘルスケア領域において、企業間・組織間の垣根を超えた業種横断型の新しいイノベーションの創出に取り組んでいます。とくに昨年、学術機関・自治体等と中長期的な視点に基づく共同研究や実証実験、さらには社会実装に取り組む組織として「共同研究推進室」を新設し、多様な機関とのさまざまな研究・協業を進めています。

また、JAXA では、宇宙飛行士の健康を守ることを目的とした事業として、「宇宙飛行士健康管理運用」と「宇宙医学研究開発」の2つを柱に取り組んでおり、そのなかで、将来の有人宇宙活動に向けた宇宙医学や健康管理技術の研究開発について、国内の民間企業等と連携した取組み^{*3}を始めています。

こうしたなか、今般、両者の強みを活かして連携することで、宇宙及び地上でのヘルスケア領域でのイノベーションの創出につながると考え、「次世代ヘルスケアサービス」創出の実現に向けて相互に連携しつつ、取組みの検討を進めることに合意しました。

当社は、「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」という創業の想いを大切にしながら、多くの方々の「『生きる』を創る。」に取り組んできました。これからもがん領域に留まらず、さまざまなイノベーションを創出しながら、ヘルスケア領域においても幅広く社会的課題に向き合い、社会と共有できる価値の創造（CSV経営）に努めてまいります。

*1 Information and Communication Technology（情報通信技術）

*2 Creating Shared Value（共有価値の創造）

*3 詳細は https://iss.jaxa.jp/med/partner/200207_health.html をご覧ください。